

令和元年度地区防災計画（避難支援個別計画）作成モデル事業（概要）

1 活動組織

片上地区支え合い実行委員会 会長 宇治橋 昭彦（備前市）

2 取組内容

地区防災計画の作成

3 期 間

令和元年6月23日から令和2年3月31日

4 地区防災計画とは

地区住民が、自助・共助の精神に基づき、市町村等と連携し、自発的な防災活動の促進や地域防災力の向上のため、地区の特性に応じてコミュニティレベルで防災活動を記した計画。

5 状 況

地区計画の策定に向けてこれまで地区で取り組んできたことと計画に盛り込みたい内容を整理する中で、着手前に参加者から過去の災害を記録した災害マップを作成したいという要望が出たため、マップ作成を中心に進め、次年度以降に各地区のハザードマップの作成など、計画策定に向けて具体的な取組を実施することとした。

<進め方>

- ・防災の専門家のコーディネートにより、ワークショップ形式で災害マップの作成を実施。
- ・東片上地区と西片上地区にそれぞれ分かれ、白地図に次のルールに基づいて記載を行った。

●浸水、水があふれた場所	青 色
●土砂崩れ、土石流があった場所	赤 色
●その他（思い出を自由に）	黄 色

6 地域等への影響

- ・部会に参加した高等学校の教諭から全校生徒に配布したいので、防災マップが完成したら学校に提供していただきたいと申し出があった。
- ・小学校の授業に防災が加わったことから地区の取組を小学校の副読本に盛り込みたいと申し出があった。

7 次年度に向けて

今年度は災害マップの作成を中心に進めたが、今後は「夜間の避難訓練」「各地区のハザードマップの作成」「自動車を避難させる場所」に絞り込んでいくことが確認された。